一般会計報告

○コミュニティセンター会計：2021年度の総収入は16,494,635円、支出額は16,494,635円、余剰金は2,228,145円でした。
○図書館中山台分室会計：市からの業務委託料は5,094,694円、支出は4,953,707円でした。

収入の部

科　目	2021年度 予算額	2021年度 決算額	2022年度 予算額	備　考
前年度繰越金	1,550,423	1,550,423	1,831,481	前年度の繰越金
市補助金	678,000	678,000	678,000	まちづくり補助金要領第５条１項1･2･3･4号事業
社会福祉協議会助成金	259,000	282,000	273,000	助成金は福祉目的のため福祉活動部へ
自治会分担金	390,000	379,800	379,800	コミュニティ活動費として自治会より会員１世帯あたり100円×3,900戸(→22年度は3,798戸)
その他の収入	40,000	13	40,000	長寿祭り参加費等、利息
収入の部合計	2,917,423	2,890,236	3,202,281	

支出の部

科　目	2021年度 予算額	2021年度 決算額	2022年度 予算額	備　考
総務活動部会費	80,000	19,676	80,000	コピー、印刷費等総務事務経費
広報活動部会費	230,000	169,915	230,000	広報誌等広報活動編集発行費
地域文化活動部会費	246,000	198,131	246,000	アートフェスタ、講演会等、事業活動費の一部として
福祉活動部会費	349,500	377,650	386,500	社協助成分273,000円含む。福祉活動費の一部として
緑化環境対策活動部会費	21,000	21,000	21,000	緑化事業活動費の一部として
生涯学習活動部会費	77,500	0	77,500	講座開催等、事業活動費の一部として
健康推進活動部会費	21,000	0	21,000	健康づくり等、事業活動費の一部として
子ども活動部会費	21,000	21,000	21,000	子ども事業活動費の一部として
災害対策活動部会費	21,000	21,000	21,000	防災事業等、事業活動費の一部として
スポーツ活動部会費	0	0	0	※スポーツクラブ21の自主財源で運営し、コミュニティ予算はゼロ
まちづくり事業費	230,000	10,300	230,000	コミュニティとしての事業（長寿まつり等）を予定していたがコロナ禍で中止、支出は印刷費のみ
市補助金返戻金		220,083		前期補助金未使用による返戻金
予備費	1,620,423		1,868,281	コミュニティ活動費の予備として
次年度繰越金		1,831,481		現預金残高1,831,481
支出の部合計	2,917,423	2,890,236	3,202,281	

※ 2022年度の中山台コミュニティ役員・常任評議員・運営委員会リストは「次号147号」に掲載させていただく予定です。

お知らせ！！

生涯学習活動部「歴史講座」再開！

■講師：直宮憲一郎氏　テーマ：多田行綱　源平合戦をおこした 男
■6/28（火）14時～16時　コミセン3F（多目的ホール）問合せ：生涯学習活動部 田邊

編　　集:中山台コミュニティ広報活動部
発 行 日:2022年(令和4年) 6月11日
発行責任者:中山台コミュニティ会長 松下義弘
編集責任者:中山台コミュニティ運営委員長 平原雅明

宝塚市中山台コミュニティセンター
住所：〒665-0877宝塚市中山桜台5-15-2
TEL：0797-89-9605
URL：http://www.nakayama-comm.jp/

第146号

中山台コミュニティ12

2022年度 中山台コミュニティ評議委員総会（書面総会）報告

コロナ禍のため書面総会として5/31に表決され、すべての議案が承認されました。
いただいた貴重なご意見は中山台コミュニティの運営に活かしていきます。
※詳細は2ページ以降　※議案書はコミュニティセンターで閲覧できます。

中山台コミュニティ会長
松下義弘氏

中山台コミュニティ・新会長 松下義弘氏からのメッセージ

明るく、いきいきと 中山台を活気のあるまちへ

― 厳しい社会環境 ―

コミュニティ、自治会などを中心にした地域の住民活動は明るく、いきいき、のびのびとありたいものです。しかし天災（異常気象、地震、風水害など）、人災（備えが怠慢で起きる災害）など私たちの暮しを取り巻く環境は厳しい時代が続いています。最近は新型コロナウイルス感染者が世界で５億人、死者は600万人（日本は870万人、3万人）を超えるなど、この100年で最も深刻な公衆衛生上の危機にさらされています。また世界各地の紛争や迫害で自国外へ逃れた難民などの総数は１億人を超えました。ロシアの軍事侵攻によるウクライナでの戦争が世界の安全を脅かし、ロシアの隣国という意識が希薄な日本人の生活にも大きな影響をもたらしています。私達が住む地域では少子高齢化が進んでいます。中山台地区の人口は約1万3400人、人口構成は10歳以下が10%、65歳以上は38%です。コミュニティ、自治会などの諸活動は後継者難に悩まされています。コロナ禍で各地域のお祭りなどの催しが減る中で、まちの元気が無くなっていきました。しかし、中山台地区は宝塚市の中で高齢化率は高いが、要介護・要支援認定者の割合が少ない高齢者が元気なまち（2019年宝塚市資料）です。
今年は宝塚市内初の統合校になる中山台小学校が新たにスタートしました。

― 盛んなコミュニティ活動 ―

中山台地区での住民活動は自治会がタテ軸、コミュニティ運営委員会を構成する活動部がヨコ軸になる、“協働”により、お互いが補完し合って取り組んでいます。コミュニティ活動の推進母体になる活動部はサロン、生活支援の会などが集まる「福祉」、様々なグループからなる「子ども」、アートフェスタ開催、年末恒例の第九を歌う会で知られる「地域文化」、毎年、宝塚市長も参加してきた「緑化環境」、この他、「健康推進」「生涯学習」「災害対策」「スポーツ」などの活動部があります。コミュニティセンターでは定期的な集まり、教室、同好会などのグループが49団体あります。子育て、家事援助、福祉活動からヨーガ、健康体操、カラオケ、合唱、麻雀、手芸、英会話、ピアノなど楽器練習、料理などを学び、楽しまれており、年間利用者は３万人に及びます。また、コミュニティセンター2階には、宝塚市立図書館中山台分室があり、年間２万人が利用しています。市民が集い、交流の場として欠かせないところになっています。

― “普通の生活”へ！ ―

コロナ感染はまだ油断はなりませんが、最近、若干様相は変わってきました。5月連休時には海外旅行に出かける人達が増えてきました。政府はマスク着用の基準緩和を発表、時と場所によりますが、マスクをしない人を見かけるようになってきました。これからはコロナ前の“普通の生活”が取り戻されコミュニティセンターでの各種催し、教室なども増えていくと思われます。各地域でお祭りなど様々なイベント開催の話し合いが始まっています。これからは人と人が集い、話し合う機会が増えていきます。活気が戻り、皆が明るく、いきいき、のびのびと過ごせるまちになっていくことを願います。